

令和 7 年度 立川市立柏小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	○よく考えて実行する子ども（思考力・判断力・表現力等） ○心豊かで思いやりのある子ども（多様性を認め、協働していく力） ◎健康でたくましい子ども（挑戦し、最後までやり抜く力）
---------	---

児童に育成させたい資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取り組み
① 自分の考えを表現できる力 ② 互いの考えを認め合う力 ③ 粘り強く最後まで取り組む力	・児童が自ら課題を設定し、課題解決に向かう授業づくり ・互いの考えを共有する時間の設定 ・教材や場の設定、声掛けの仕方を工夫し、児童がすぐあきらめることなく取り組むことができる授業展開の工夫 ・タブレット PC の活用と高学年の教科担任制

＜上記 3 点の資質・能力を育成するための具体的な取組＞

教科	教科で育成を目指す 資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組 (学習活動など)
国語	①日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを表現する力 ②他者の考えの良さに気付く力 ①叙述を基に自分の思いや考えをもち、表現する力 ①目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書く力 ③自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する力	・伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさを工夫できるよう、ペアや小集団での対話活動を多く取り入れる。 ・多様な見方や考え方ができるように、ペアやグループで考えを交流し、友達の考えの良さに目を向けて聞く指導を行う。 ・叙述を基に考えられるよう着目させたい言葉に線を引いたり、考えの根拠となる文やページ、行数を明確にしてノートに記録したりする時間を設ける。 ・自分の考えの根拠を具体的な事例を入れたり、引用したりしながら書くように指導する。 ・目的や意図に照らし合わせて、それに合っているのか自己評価させる時間をとる。
社会	①資料を読んだり、複数の資料を比較し、関連付けたりする力 ②資料から読み取れることや、自分の考えを互いに交流し、深める力	・資料を提示する際、読み取る視点を明確にする。 ・複数の資料を提示し、比較したり、関連付けたりするなど、ペアやグループで交流できるようにする。 ・資料から読み取ったことを個人で箇条書きにまとめてから、全体で意見交流し、それぞれの考えの良さを価値付ける。
算数	①場面や数量関係を的確に捉え、図や式を用いて自分の考えを分かりやすく表現し、問題を解決していく力 ②自分の考えと友達の考えを比較し、よりよい考えを見付ける力	・導入で問題場面のイメージを全体で共有してから問題解決に取り組めるようにする。 ・場面の様子を、絵や図、言葉、式で表現する機会を多くもつ。 ・立式の根拠を全体で共有することを大切にする。 ・自分の考えを明らかにした上で、友達との交流を通して、共通点や相違点を明らかにし、その中でよりよい表現の仕方、よりよい解決方法を考えることができるようにする。
理科	①根拠をもって自分の考え（予想）を表現する力 ②自分が既にもっている考えを再検討する力 ③自分が納得できるまで探究する力	・生活経験と既習内容を基にして、予想を立てられるようにする。 ・自分の考察を予想や仮説、友達の考察などと、照らし合わせる時間を設定する。 ・実験結果の見通しをもって、実験に取り組み、納得のいく結果にならないときは再実験する時間を確保する。 ・学んだことと日常生活との関連について、振り返る時間を設ける。
生活	①人や自然、社会との関わりに気付き表現する力 ②友達の気付きから自分の学びを深める力	・身近な人との交流、四季や動植物の観察を通して、気付いたことを様々な方法で表現する活動を取り入れる。 ・ペアやグループ活動、友達との交流などを通して、友達と自分の気付きとの共通点や相違点を見付け、認め合う活動を取り入れる。

音楽	<p>①楽しく音楽に関わる態度を養いながら、曲想と音楽の構造などの関わりについて気付き、自分の思いをのせて表現する力</p> <p>②互いに音楽表現を認め合い、高め合う力</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 楽しく音楽に関われるように身体表現やリズム活動を多く取り入れる。 • 音や楽譜から音楽の要素（拍子、旋律、リズム、音の重なりなど）を読み取り、感じたことを言葉に表現する機会を多く取り入れ、思いをのせて表現できるようにする。 • 音楽表現をペアや少人数で聴き合い、お互いの良さを伝え、全体で共有する時間を設定する。
図画工作	<p>①形や色の特徴を捉え、材料や用具を活用し、創造的に表現する力</p> <p>②友達の作品の良さを見付けて自分の見方や考え方を深める力</p> <p>③すすんで造形活動に取り組み、最後まで粘り強く取り組む力</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 材料と触れ合ったり、用具に慣れたりする時間を大切にし、色や形の組み合わせ、手触りの感じを捉え、イメージと関連付けられるようにする。 • 作品の制作途中や完成後に、作品に込められた思いや造形的な面白さ、楽しさ、表し方の工夫などを見付ける活動を取り入れる。 • 児童にとって魅力ある題材や材料を用意し、さらに作品を工夫するためのアドバイスや具体的な制作のヒントを与え、最後まで楽しんで取り組めるよう声掛けを工夫する。
家庭	<p>①生活をよりよくしようと、授業で学んだことを普段の生活に生かす力</p> <p>②友達の考えや作品のよいところを見付け、自分の考えや作品を工夫することのできる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 日常生活の現状から、衣食住などの基礎的な理解を図り、授業で実践的、体験的な活動を行って技能を習得し、家庭でも実践できるよう計画を立てる。 • 友達との交流を通して、互いの気付きの相違点を見付けたり、認め合ったりし、よりよい生活について考える活動を取り入れる。
体育	<p>①課題解決のための運動の工夫を考えて伝える力</p> <p>③できるようになることを楽しみながら、自己の課題を把握し、その課題が解決するまで粘り強く取り組む力</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 児童の意欲を引き出す場の設定を考え、できるようになったことを実感できるように振り返りや自己評価の機会を設ける。 • ペアや少人数グループで、互いの動きを見合う時間を設定する。 • 学習カードを使用し、友達同士で見合った後に、助言し合うことで自己の課題を把握したり、振り返ったりできるようにする。 • 練習の場や作戦を工夫したり、選択したりできる活動を取り入れる。
外国語	<p>①学習した語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちを表現する力</p> <p>②外国語を用いて互いの理解を深める力</p>	<ul style="list-style-type: none"> • チャンツや歌などを活用し、基本的な表現に親しむ時間を十分に確保する。 • 明確な目的、場面、状況の中で、自分の考えや気持ちを表現するための多様な言語活動を設定する。 • 相手とのやり取りの中で、互いにリアクションを大切にするよう声を掛ける。